FULL HEIGHT DOOR®

INSET MODE　インセット枠

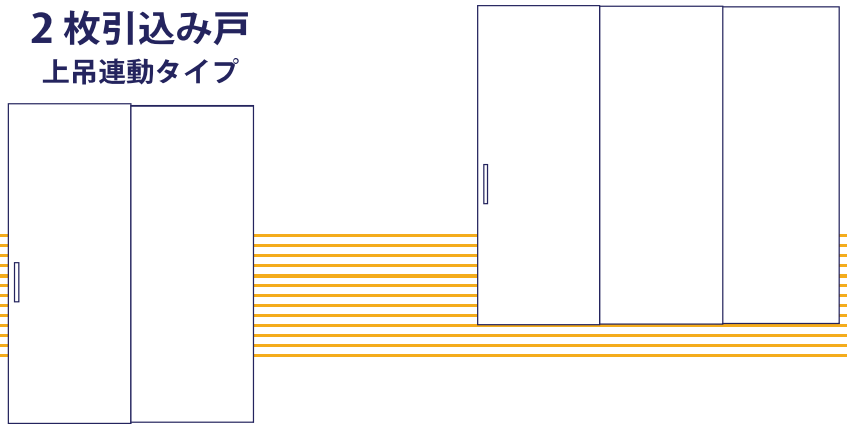
フルハイトドア®

施工手順書

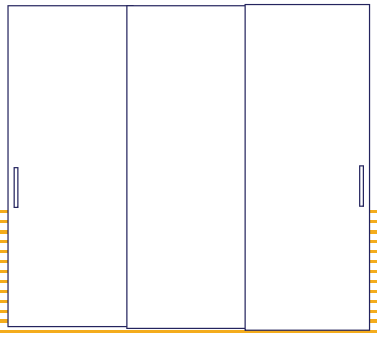
2 枚引込み戸･3 枚引込み戸【上吊連動タイプ】
3 枚引違い戸【上吊 + 床付連動タイプ】

3 枚引込み戸
上吊連動タイプ

2 枚引込み戸
上吊連動タイプ



3 枚引違い戸
上吊 + 床付連動タイプ



kamiya

作成：2013年6月1日
改訂：2019年8月22日

施工を担当される方へ

安全のために必ずお守りください

⚠注意

● 施工前にこの手順書をよく読み、正しく施工してください

○ 枠･下地枠の取付は、水平･垂直･ねじれがないかを必ずご確認し、確実な固定を行ってください。
○ 本製品の組み立てで付属ビスがある場合には、必ずそのビスを使用してください。
付属ビス以外で取り付けた場合、部材の脱落や枠のゆるみ等が発生する恐れがあります。

●ケガや事故防止のため、以下の事項を必ずお守りください

○ 風の強い場所では開き戸が強く閉まるなどして手をはさむ恐れがありますので
扉を開け放しにしないようご注意ください。
○ 運搬作業時は滑り止めの手袋を着用し、扉建て付け時には十分気をつけて行ってください。

● 施工前及び施工時の確認

○ 本製品は屋内用ですので、屋外や水がかりする箇所には使用しないでください。
○ 本製品は内装扉を用途とする商品です。他の用途として使用したり、本手順書と異なった
施工をした場合の保障は当社では責任を負いかねます。
○ 高温･高湿の環境条件では使用できません。
○ 施工前に部材の数量･キズの有無をご確認ください。
施工後のキズについては当社では責任を負いかねます。
○ 部材を保管する場合は湿気･直射日光を避け、十分な養生をしてください。
○ 開口部または枠の寸法を測り、躯体または枠が正確に施工されているか、
ご用意の扉サイズが適切かどうかご確認願います。
○ 施工時に電動ドライバーを使用する場合は、カラモミを防ぐため最後の締め付けは
必ず手締めにて行ってください。
○ 扉の調整の際には、電動ドライバーは絶対に使用しないでください。
ビス類が破損し、調整できなくなることがあります。
○ 扉や枠の表面に、長時間テープを貼らないでください。汚れ･破損･色ムラの原因になります。
また、突き板塗装ドアの場合、塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。

● 施工後の処理

○ お施主様への引渡し前に、工事管理者が必ず点検を行い、不具合箇所を補修してください。
○ 施工後はキズが付かないように養生してください。
このとき、表面にテープを直接貼らないでください。
また、突き板塗装ドアの塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。
○ 清掃の際は水を固く搾った布で汚れを落とした後、柔らかい布で乾拭きしてください。
また、汚れが落ちにくい場合は、薄めた中性洗剤で汚れを落とした後、
洗剤が残らないようによく拭き取ってください。
○ 内装工事が終了するまでの間は、扉をはずして保管されることをお勧めします。

kamiya
Full Height Door

□２枚・３枚引込み戸(上吊)

forインセット枠

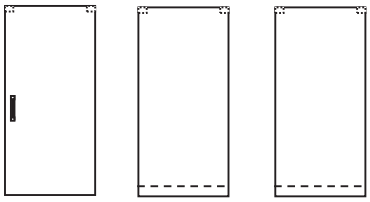
施工手順書2013/6更新
改訂2019/8

■ 製品及び同梱内容の確認

● 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

建具

部材	数量	備考
2枚引込み戸	1枚	引手取付済み(スリット手掛けタイプはなし) 固定カップ取付済み
	1枚	固定カップ取付済み ユニット本体取付済み
3枚引込み戸	1枚	引手取付済み(スリット手掛けタイプはなし) 固定カップ取付済み
	2枚	固定カップ取付済み ユニット本体取付済み

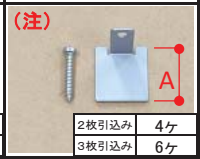
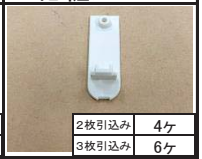
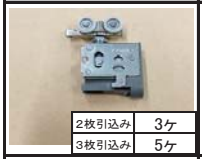
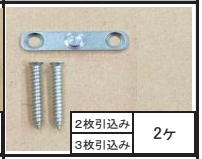
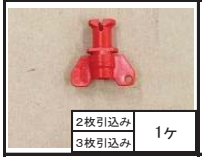
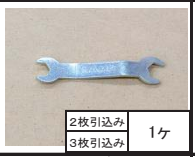
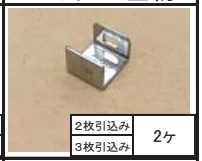


同梱品

インセット枠

部材	数量	備考
縦枠	1本	

同梱品

引戸レール		レールエンドプレート	化粧カバー
2枚引込み 3枚引込み 1本	2枚引込み 1本 3枚引込み 2本	 2枚引込み 4ヶ 3枚引込み 6ヶ	 2枚引込み 4ヶ 3枚引込み 6ヶ
上部吊車	**上部吊車(スライダー付)**		**トリガー**
 2枚引込み 3ヶ 3枚引込み 5ヶ	2枚引込み 1ヶ 3枚引込み		 2枚引込み 2ヶ 3枚引込み
トリガー取付治具	**スパナ**	**J型ジョイント金物**	**ジョイント金物**
 2枚引込み 1ヶ 3枚引込み	 2枚引込み 1ヶ 3枚引込み	2枚引込み 0ヶ 3枚引込み 2ヶ	 2枚引込み 2ヶ 3枚引込み
キャッチ金物	**MSビス**	**ビスキャップ**	
2枚引込み 2ヶ 3枚引込み 4ヶ	1セット H24 5本 H27 6本	1セット H24 5ヶ H27 6ヶ	

(注)レールエンドプレートは2サイズありますのでご注意ください。
ポケット戸用(A＝25mm)と、片引き戸用を含むその他の引き戸用(A＝23mm)です。
取付ける際は引き戸の種類とレールエンドプレートのサイズをご確認ください。

□２枚・３枚引込み戸(上吊)

forインセット枠

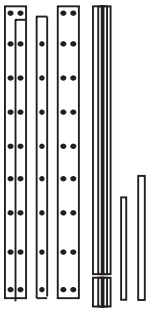
施工手順書2013/6更新
改訂2019/8

■ 製品及び同梱内容の確認

● 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

下地枠

部材	数量	備考
縦枠下地	1本	
中方立下地	1本	
片方立下地	1本	
上枠下地	2本	2本に分割されています
見切縁	1本	ラフカット
隙間隠し材	1本	上枠勝ち納まりは無し



※開口定規は同梱されておりません。
※上枠下地は2421㎜以上の場合2分割されています。

同梱品

施工手順書

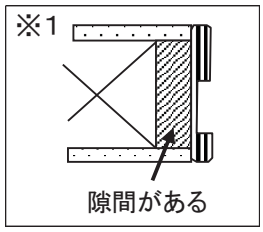
□２枚・３枚引込み戸(上吊)

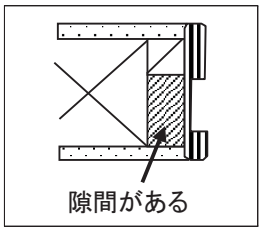
forインセット枠

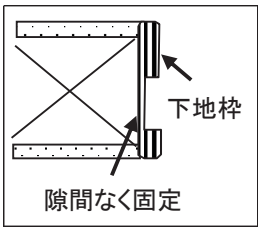
施工手順書2013/6更新
改訂2019/8

1 施工前の確認事項

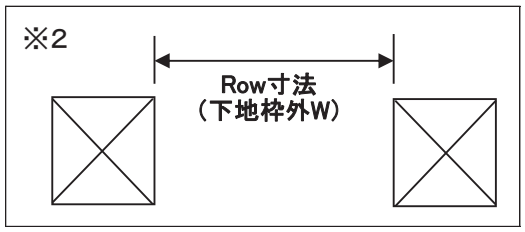
① 下地枠を取り付ける前に、開口部の巾（図面：ＲＯＷ寸法）と、高さ（図面：床仕上～開口高さ）の確認をしてください。（縦枠下地は、床仕上げ面からの立ち上がりとなっているので注意してください）







×	×	○	



開口の確認

注意

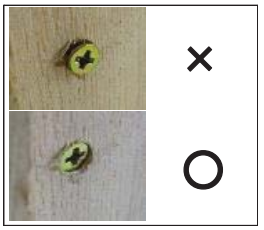
※1: 下地枠は躯体（構造材）と面接合する様に取り付けますので、下地枠の裏側部分には必ず木材を全面に入れておいてください。
※2: 開口部(柱・まぐさ等)の水平・垂直・前後の倒れ・ねじれ等がないか 、水平器等で十分に確認してください。

2 縦枠下地・片方立下地の取り付け

① 縦枠下地を接着剤・取り付けビス(現場手配品)併用にて躯体に固定します。（下地断面の狭い方が戸袋側で、壁厚の真ん中に取り付けてください）

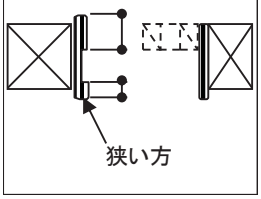
下地裏面に接着剤全面塗布

下地表よりビス固定



×
○

ビス固定の方法

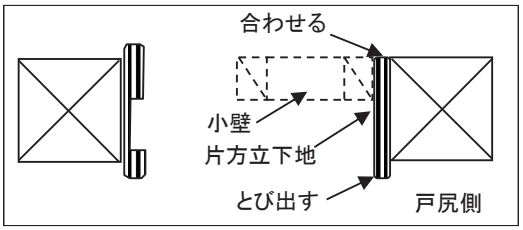


断面の狭い方が戸袋側

② 片方立下地を接着剤・取り付けビス(現場手配品)併用にて躯体に固定します。(小壁側の壁面と下地材を合せます)

下地裏面に接着剤全面塗布

下地表よりビス固定



片方立下地の取り付け位置

注意

※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(酢ビ系をお奨めします)
※下地枠の取り付けにはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めしてください。
※下地枠取り付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛びさないようにしてください。

□２枚・３枚引込み戸(上吊)

forインセット枠

施工手順書2013/6更新
改訂2019/8

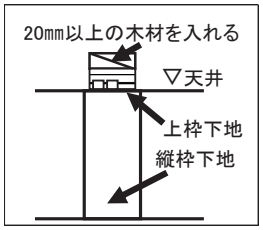
3-1 上枠下地の取り付け（上枠勝ち納まりの場合）

① 上枠下地を接着剤・取り付けビス(現場手配品)併用にてまぐさに固定します。上枠下地の取り付け位置は、縦枠下地と同様に壁厚の真ん中に取り付けてください。(縦勝ちに納まります)
上枠下地の裏側には、20㎜以上の木材を入れてください。

下地裏面に接着剤全面塗布

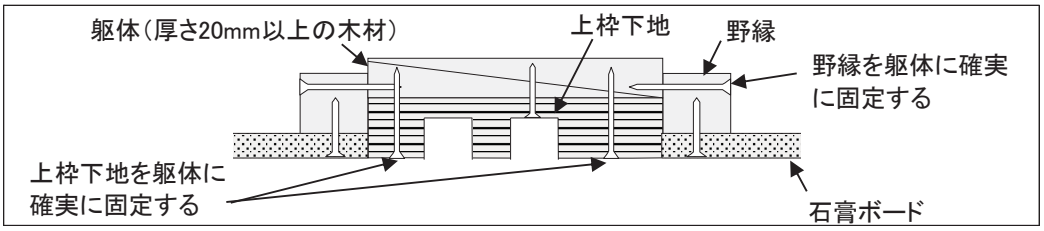
縦枠勝ちに納める

下地表よりビス固定



上枠下地の裏には
20㎜以上の木材を入れる

② 上枠下地と石膏ボードを連続して納める場合、野縁を躯体にしっかりと固定します。その際、石膏ボードの厚さ分を確保してしてください。その後、石膏ボードを上枠下地に合わせて野縁に固定してください。



石膏ボードの厚さ分を確保して、野縁を躯体に固定
その後、野縁に石膏ボードを取付ける

注意

※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(酢ビ系をお奨めします)
※下地枠の取り付けにはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めしてください。
※下地枠取り付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛びさないようにしてください。またその際、レールビスと干渉しない位置にビス止めを行ってください。
※上枠下地の裏側には、必ず20㎜以上の木材を入れてください。
※野縁は躯体にしっかりと固定してください。上枠下地が固定されている躯体に野縁が固定されていないと、クロスの割れ、よれ、塗り壁の割れの原因となります。
※縦枠下地の天井のみ込み部分は、ボードの厚み部分の欠き込みを行ってください。

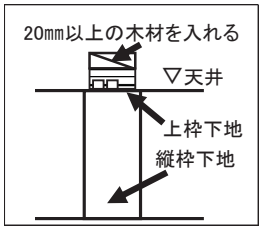
3-2 上枠下地の取り付け（天井ボード勝ち納まりの場合）

① 上枠下地を接着剤・取り付けビス(現場手配品)併用にてまぐさに固定します。上枠下地の取り付け位置は、縦枠下地と同様に壁厚の真ん中に取り付けてください。(縦勝ちに納まります)
上枠下地の裏側には、20㎜以上の木材を入れてください。

下地裏面に接着剤全面塗布

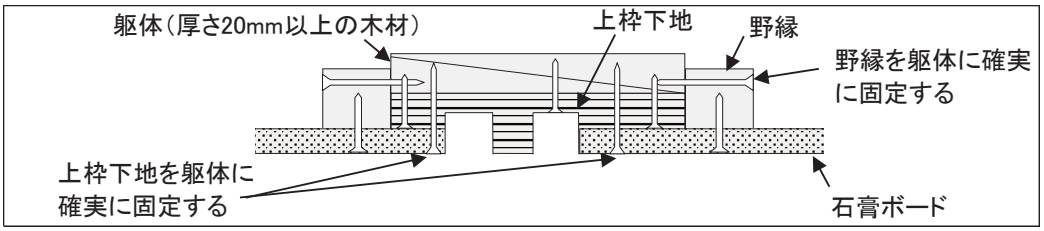
縦枠勝ちに納める

下地表よりビス固定



上枠下地の裏には
20㎜以上の木材を入れる

② 野縁を躯体にしっかりと固定します。その際、石膏ボードの厚さ分を確保してしてください。その後、石膏ボードをレール溝に合わせて野縁と上枠下地に固定してください。



石膏ボードの厚さ分を確保して、野縁を躯体に固定
その後、野縁と上枠下地に石膏ボードを取付ける

注意

※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(酢ビ系をお奨めします)
※下地枠の取り付けにはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めしてください。
※下地枠取り付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛びさないようにしてください。またその際、レールビスと干渉しない位置にビス止めを行ってください。
※上枠下地の裏側には、必ず20㎜以上の木材を入れてください。
※野縁は躯体にしっかりと固定してください。上枠下地が固定されている躯体に野縁が固定されていないと、クロスの割れ、よれ、塗り壁の割れの原因となります。
※縦枠下地の天井のみ込み部分は、ボードの厚み部分の欠き込みを行ってください。

□２枚・３枚引込み戸(上吊)

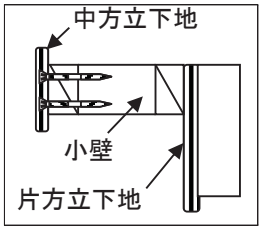
forインセット枠

施工手順書2013/6更新
改訂2019/8

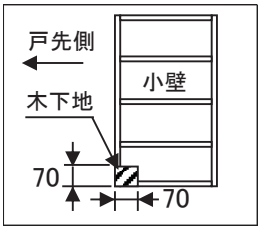
4 中方立下地の取り付け方

① 戸袋部分に小壁を立て、中方立下地を小壁に接着剤・取り付けビス(現場手配)併用にて固定します。(中方立下地は、床仕上げ面から上枠下地の下端までの長さです)
その際に金物を固定する為、小壁面から70mm、床面から70mmの範囲に必ず木下地を入

下地裏面に接着剤全面塗布

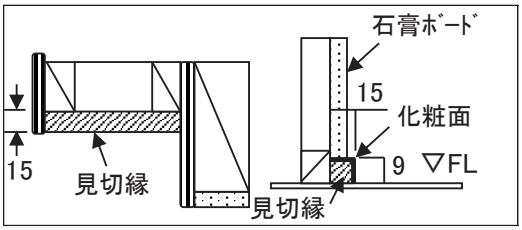


小壁を立てて
中方立下地の取り付け

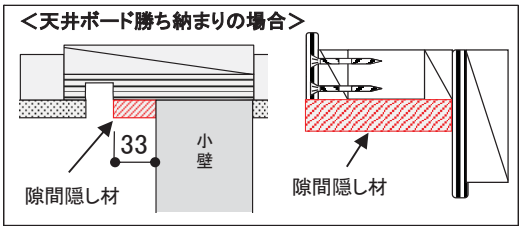


小壁に70mm四方の木下地を入れる

② 戸袋側の小壁に沿わせて、見切縁を接着剤・タッカー(現場手配)併用にて取り付けます。見切縁の15㎜の面に石膏ボードを載せてください。(石膏ボードは12.5㎜の設定なので、2.5㎜のチリが出ます)
天井ボード勝ち納まりの場合は、上枠下地のレール溝と小壁の間に隙間隠し材を現場で正寸カットして取りつけてくださ



見切縁の取り付け



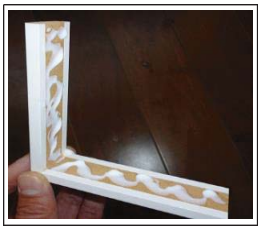
<天井ボード勝ち納まりの場合>
上枠下地のレール溝と小壁の間に
隙間隠し材を取りつける
※クロスの場合は33mm、塗り壁の場合は36mm

注意

※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(酢ビ系をお奨めします)
※下地枠の取り付けにはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めしてください。
※下地枠取り付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛び出さないようにしてください。
※見切縁は2本同梱されていますので、長さが足りない場合は継ぎ足してください。

5 巾木・クロス施工

① 巾木を接着剤にて、縦枠下地のシャクリ部分の手前までまわしてください。(接着剤は酢ビ系をお奨めします)



接着剤全面塗布

巾木の取り付け方

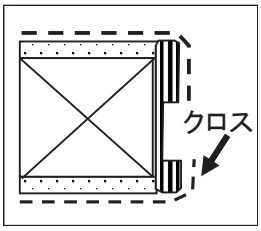
巾木の取り付け方
×

巾木の取り付け方
○

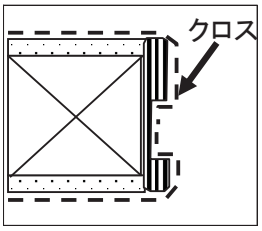
② パテ等の下地処理をした後でクロスを貼ってください。（メッシュ＋下塗り＋上塗りをお奨めします）
その際に下地のシャクリ部分までクロスを巻き込んでください。

メッシュテープ貼り

パテ処理



クロスの貼り方
×



クロスの貼り方
○

注意

※上枠下地のレール溝部分は、クロスを貼り伸ばしてレール溝に巻き込んでください。

□２枚・３枚引込み戸(上吊)

forインセット枠

施工手順書2013/6更新
改訂2019/8

6 インセット枠の取り付け

① インセット枠を下地のシャクリ部分にはめ込み、同梱のＭＳビスにて枠を固定します。全てのビス固定が終わったら、手動ドライバーで手締めして完全に固定してください。

インセット枠固定
(ＭＳビス)

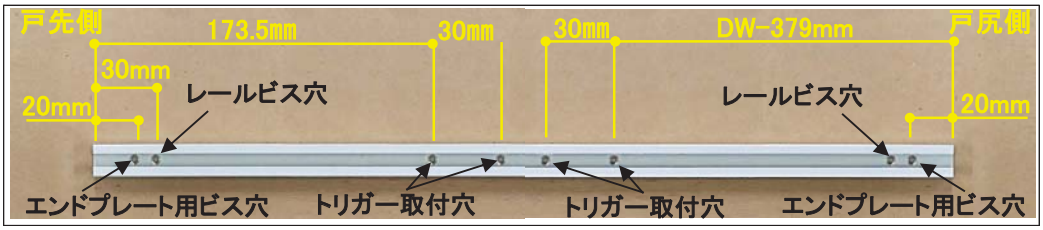
手動ドライバーで完全に固定

注意

※インセット枠は正寸カットにて出荷していますので、現場にてカットしないでください。(床仕上面よりの立ち上りとなります)

7-1 引戸レールの取り付け

① ソフトクローズ対応の引戸レールを取り付ける際は、戸先側・戸尻側の向きを確認してください(両側ソフトクローズ付の為、両側にトリガー穴加工がされていて、距離の短い方が戸先側になります)。
レールは別途梱包にあります。



レールの戸先側の向き確認

注意

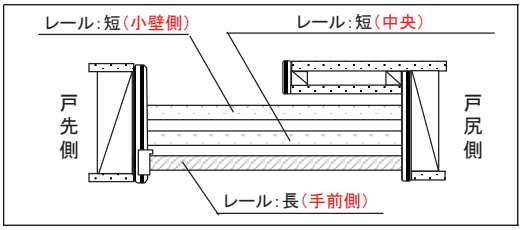
□２枚・３枚引込み戸(上吊)

forインセット枠

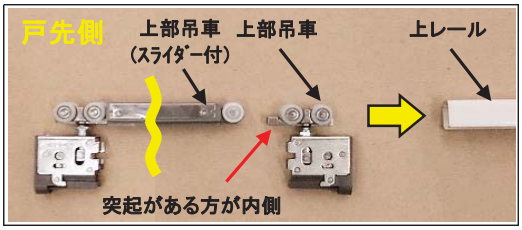
施工手順書2013/6更新
改訂2019/8

7-2 引戸レールの取り付け

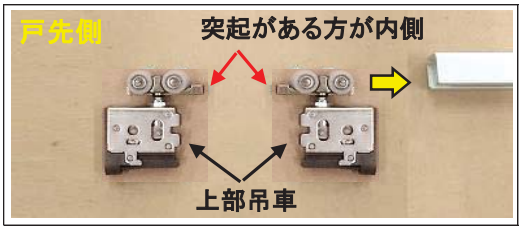
① レールを取り付ける前に、あらかじめ上部吊車をレール内部に入れてください（手前側と中央及び小壁側でレールが異なります）。レール端部にレールエンドプレートを両面テープで仮止めしてください。付属の取り付けビスで、レールとレールエンドプレートを固定してください。
レールは別途梱包にあります。



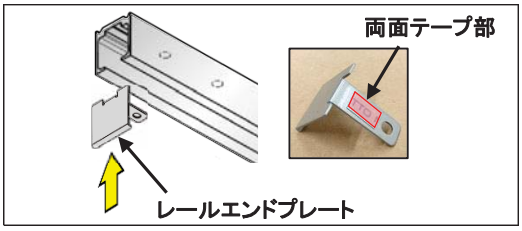
手前側：トリガー穴加工有りレール取付け
中央・小壁側：トリガー穴加工無しレール取付け



<手前側のレール>
吊車をレールに入れる



<小壁側・中央のレール>
吊車をレールに入れる



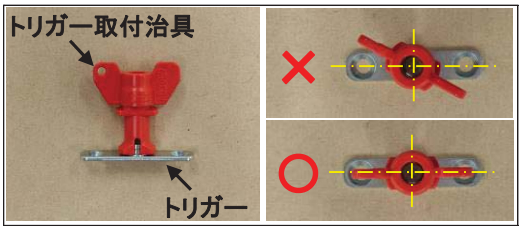
レールエンドプレートを両面テープで仮止めし、
レールと一緒に固定する

注意

※上部吊車の吊車の向きに注意してください。
※建具の開閉は、勢いよくやりすぎると金物が破損する可能性があるので注意してください。

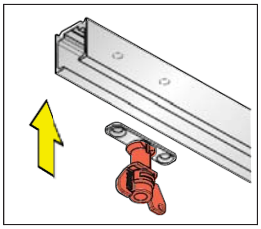
8 トリガーの取り付け

① トリガーを取付治具にセットします。

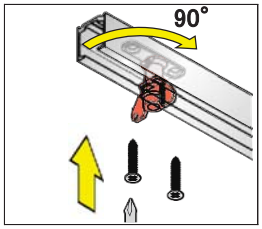


トリガーをトリガー取り付け治具にセット

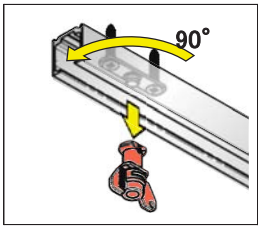
② トリガーをトリガー取付穴に合せてください。
治具を90°回し、トリガーを付属ねじで取付けてください。
治具の向きを戻し外してください。



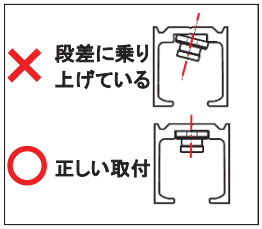
トリガーの穴を合わせる



治具を90°回し、
トリガーを取付ける



治具を外す



注意

※溝に真っ直ぐ入っていない状態でビス止めすると、トリガーが変形してしまう恐れがあるので注意してください。
※トリガーはレールの溝部分に真っ直ぐに入るようにして、必ず手動ドライバーにて固定してください。

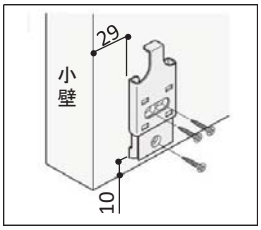
□２枚・３枚引込み戸(上吊)

forインセット枠

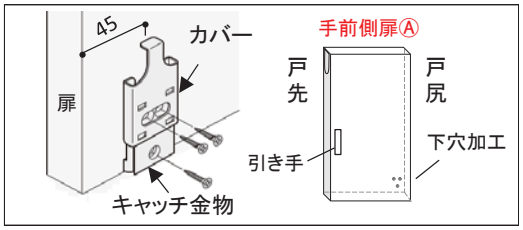
施工手順書2013/6更新
改訂2019/8

9-1 2枚引込み戸　連動金物の取付け（キャッチ金物の取付け）

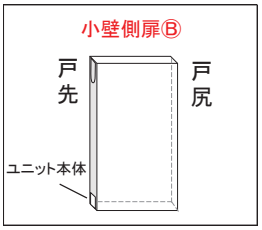
① キャッチ金物を取付けてください。
小壁には、小壁の端から29mm床から10mmの位置に取付けてください。
手前側扉Ⓐは、戸尻の下部にある下穴の位置に取付けてください。
小壁側扉Ⓑには、キャッチ金物は取り付けません。



小壁
キャッチ金物を取付け



手前側扉Ⓐ（引き手付き）
戸尻の下部にキャッチ金物を取付け



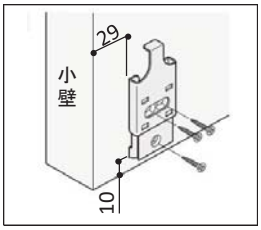
小壁側扉Ⓑ（引き手無し）
キャッチ金物の取付け無し

注意

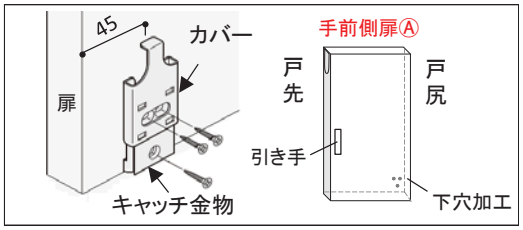
※キャッチ金物のカバーは、現時点では下ろさないでください。扉吊り込み後にジョイント金物が差し込めなくなります。
※ねじの頭が浮かないように取付けてください。

9-2 3枚引込み戸　連動金物の取付け（キャッチ金物の取付け）

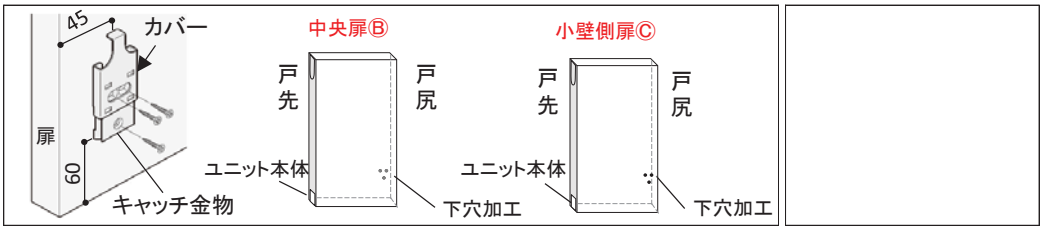
① キャッチ金物を取付けてください。
小壁には、小壁の端から29mm床から10mmの位置に取付けてください。
手前側扉Ⓐ、中央扉Ⓑ、小壁側扉Ⓒには、戸尻の下部にある下穴の位置にそれぞれ取付けてください。



小壁
キャッチ金物を取付け



手前側扉Ⓐ（引き手付）
戸尻の下部にキャッチ金物を取付け



中央扉Ⓑ（引き手無し）：戸尻の下部にキャッチ金物を取付け
小壁側扉Ⓒ（引き手無し）：戸尻の下部にキャッチ金物を取付け

注意

※キャッチ金物のカバーは、現時点では下ろさないでください。扉吊り込み後にジョイント金物が差し込めなくなります。
※手前側扉Ⓐのみ引き手付きとなります。中央扉Ⓑと小壁扉Ⓒには引き手はありません。
※ねじの頭が浮かないように取付けてください。

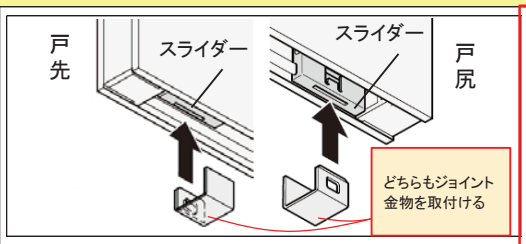
□２枚・３枚引込み戸(上吊)

forインセット枠

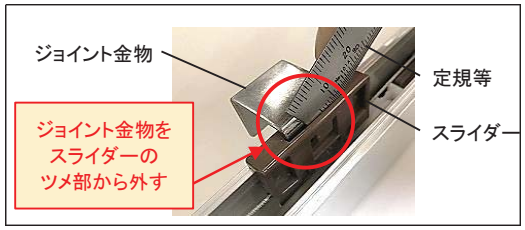
施工手順書2013/6更新
改訂2019/8

9-3 連動金物の取付け（ジョイント金物の取付け）

① **<2枚引込み戸の場合>**
小壁側の扉の下部にあるユニット本体のスライダーにジョイント金物（穴加工側）を差し込んでください。

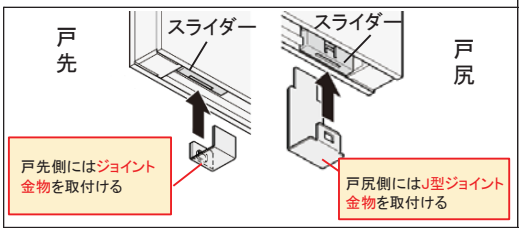


小壁側扉Ⓑ
扉下部にあるユニット本体のスライダーにジョイント金物（穴加工側）を差し込む

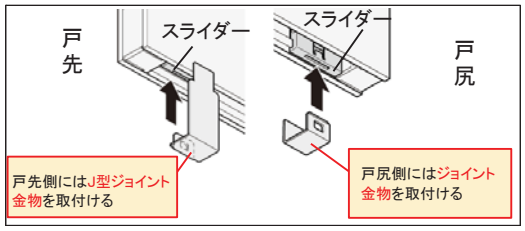


※ジョイント金物を外す場合
ジョイント金物とスライダーの隙間に定規等を差し込みツメ部から外し、引き抜く

② **<3枚引込み戸の場合>**
中央の扉・小壁側の扉の下部にあるユニット本体のスライダーにジョイント金物（穴加工側）を差し込んでください。



中央扉Ⓑ
扉下部にあるユニット本体のスライダーにジョイント金物（穴加工側）を差し込む



小壁側扉Ⓒ
扉下部にあるユニット本体のスライダーにジョイント金物（穴加工側）を差し込む

注意

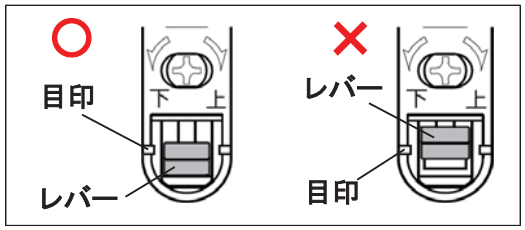
※各種ジョイント金物の位置や向きを間違えないように取付けてください。穴加工のある方をユニット本体のスライダーに差し込んでください。
※3枚引込戸の場合は、キャッチ金物を取付けた面にJ型ジョイント金物が取り付きます。
※各種ジョイント金物の挿入後は、扉を立てた状態で床置きしないでください。スライダーに負荷が掛かり破損してしまう恐れがあります。
扉を立てる場合は、当て木等でジョイント金物に直接負荷が掛からないようにしてから置いてください。

10-1 建具の吊り込み（固定カップと上部吊車の連結）

① 建具を起こしていきながら、建具上部の固定カップとレール内にある上部吊車を連結し、吊り込んでください。

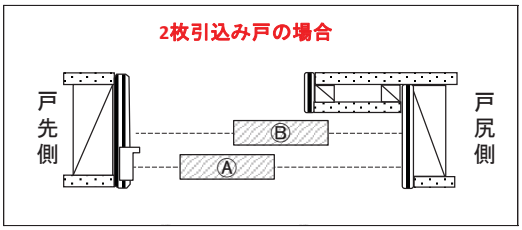
固定カップと
上部吊車を連結する

パチンの音を確認

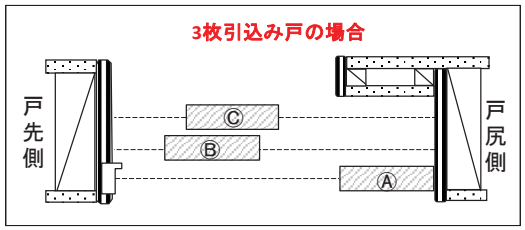


上部吊車のレバーの位置を確認する

② **<2枚引込み戸の場合>**
扉Ⓐと扉Ⓑは連結させやすいよう、重ねておいてください。
<3枚引込み戸の場合>
扉Ⓐは戸尻側に寄せ、扉Ⓑと扉Ⓒは連結させやすいよう、重ねておいてください。



扉Ⓐと扉Ⓑは連結させやすいよう、重ねておく



扉Ⓐは戸尻側に寄せ、扉Ⓑと扉Ⓒは
連結させやすいよう、重ねておく

注意

※建具を持ち上げる際は天井に建具がぶつからない様に気を付けてください。
※上部吊車と固定カップは、パチンと音が鳴るまで連結させてください。最後まで入っていないと、使用中、外れる恐れがあります。
※吊車を取り外す際、素手で外れない場合は、プライヤー等工具を使用し取り外してください。
※建具の開閉は、勢いよくやりすぎると金物が破損する可能性があるので注意してください。
※3枚引込戸の場合は、必ず扉ⒷⒸをジョイント金物分ずらして重ねておいてください。戸先と戸尻それぞれのキャッチ金物を連結させる為必要となります。

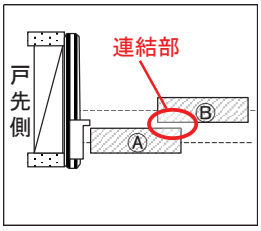
□２枚・３枚引込み戸(上吊)

forインセット枠

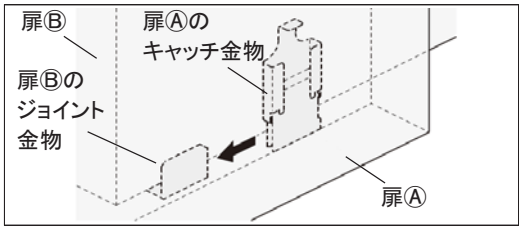
施工手順書2013/6更新
改訂2019/8

10-2 2枚引き込み戸　建具の吊り込み（キャッチ金物とジョイント金物の連結）

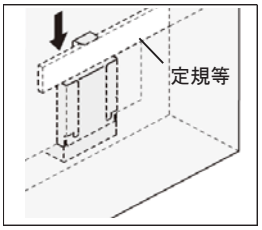
① **<扉Ⓐ Ⓑの連結>**
扉Ⓐの戸尻側のキャッチ金物に扉Ⓑのジョイント金物を横から指し込みます。
ドライバーや定規等でキャッチ金物のカバーを下ろしてください。



扉Ⓐ Ⓑの戸尻を連結

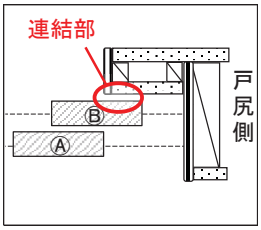


扉Ⓐのキャッチ金物に、扉Ⓑの
ジョイント金物を横から指込む

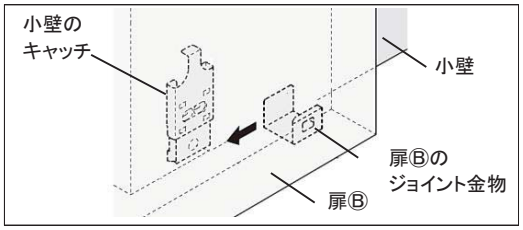


ドライバーや定規等で
キャッチのカバーを下ろす

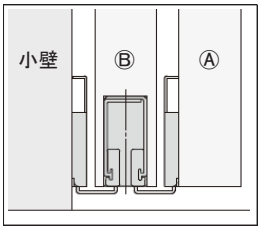
② **<扉Ⓑと小壁の連結>**
小壁のキャッチに、扉Ⓑのジョイント金物を横から差込みます。
ドライバーや定規等でキャッチ金物のカバーを下ろしてください。



扉Ⓑと小壁の連結



小壁のキャッチ金物に、扉Ⓑのジョイント金物を
横から差込みドライバーや定規等で
キャッチ金物のカバーを下ろす



連動金物納まり

注意　**※ジョイント金物をキャッチ金物に差し込み後、必ずキャッチ金物のカバーを下ろしてください。**

10-3 ※キャッチ金物とジョイント金物の連結を解除する場合

① キャッチ金物にジョイント金物を差し込んだ後、やむを得ず扉を外す場合は、ジョイント金物が差し込まれたキャッチ金物の隙間にマイナスドライバー等を差し込みツメ部から外し、扉ごと引き抜いてください。

ジョイント金物とキャッチ金物の隙間にマイナスドライバー等を
差し込みツメ部から外し、扉ごと引き抜く

注意

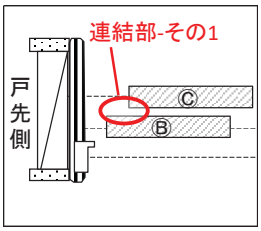
□２枚・３枚引込み戸(上吊)

forインセット枠

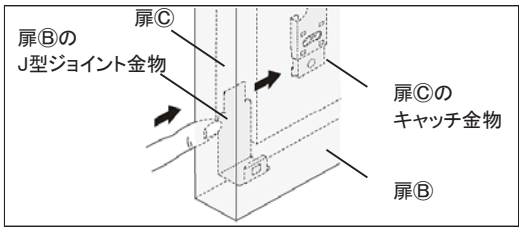
施工手順書2013/6更新
改訂2019/8

10-4 3枚引込み戸　建具の吊り込み（キャッチ金物とJ型ジョイント金物の連結）

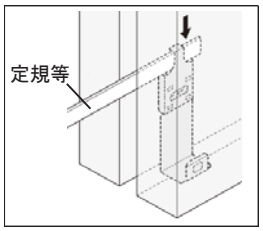
① **<扉Ⓑ Ⓒの連結-その1>**
扉Ⓒの戸先側のキャッチ金物に扉ⒷのJ型ジョイント金物を差し込みます。（指先でJ型ジョイント金物をキャッチ金物に押し込んで確認してください。）
ドライバーや定規等でキャッチ金物のカバーを下ろします。



扉Ⓑ Ⓒの戸先を連結

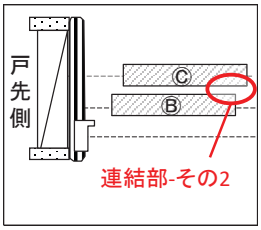


扉Ⓒの戸先側のキャッチ金物に扉Ⓑの
J型ジョイント金物を差し込む

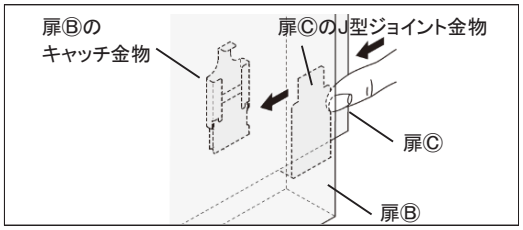


ドライバーや定規等で
キャッチ金物のカバーを
下ろす

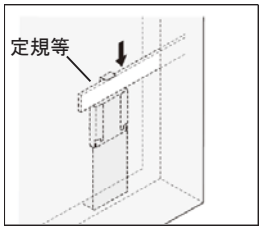
② **<扉Ⓑ Ⓒの連結-その2>**
扉Ⓑのキャッチ金物に、扉ⒸのJ型ジョイント金物を横から指し込みます。（指先でJ型ジョイント金物をキャッチ金物に押し込んで確認ください。）
ドライバーや定規等でキャッチ金物のカバーを下ろしてください。



扉Ⓑ Ⓒの戸尻を連結



扉Ⓑのキャッチかなものに、扉Ⓒの
J型ジョイント金物を横から差し込む

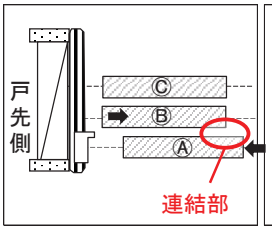


ドライバーや定規等で
キャッチ金物のカバーを
下ろす

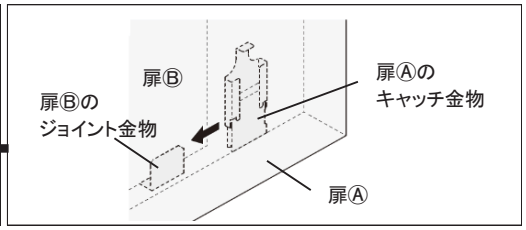
注意
※J型ジョイント金物は差し込み難い為、必ず指で押し込み連結しているか確認してください。
※ジョイント金物をキャッチ金物に差し込み後、必ずキャッチ金物のカバーを下ろしてください。

10-5 3枚引込み戸　建具の吊り込み（キャッチ金物とジョイント金物の連結）

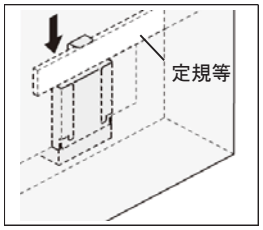
③ **<扉Ⓐ Ⓑの連結>**
扉Ⓑ Ⓒを戸先側へ移動させて、扉Ⓐのキャッチ金物に扉Ⓑのジョイント金物を横から差し込みます。
ドライバーや定規等でキャッチ金物のカバーを下ろしてください。



扉Ⓐ Ⓑの戸尻を連結

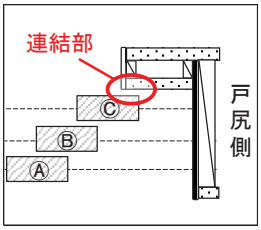


扉Ⓐのキャッチ金物に扉Ⓑの
ジョイント金物を横から差し込む

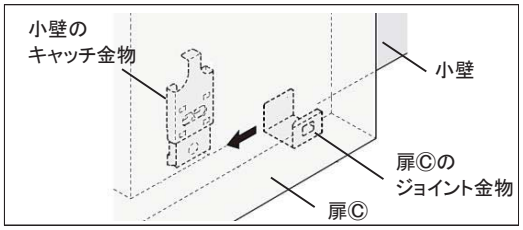


ドライバーや定規等で
キャッチ金物のカバーを
下ろす

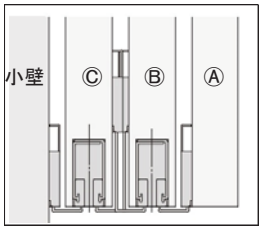
④ **<扉Ⓒと小壁の連結>**
扉３枚を少し開いた状態で戸尻側に移動させてください。
壁のキャッチに、扉Ⓒのジョイント金物を横から差し込みます。
ドライバーや定規等でキャッチ金物のカバーを下ろしてください。



扉３枚を少し開いた状態で
戸尻側に移動させる



小壁のキャッチ金物に、扉Ⓒのジョイント金物を
横から差し込みドライバーや定規等で
キャッチのカバーを下ろす



連動金物納まり

注意
※ジョイント金物をキャッチ金物に差し込み後、必ずキャッチ金物のカバーを下ろしてください。
※ジョイント金物をキャッチ金物に差し込んだ後、やむを得ず扉を外す場合「手順12-3①」を参照してください。

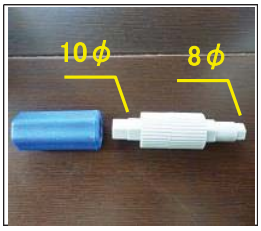
□２枚・３枚引込み戸(上吊)

forインセット枠

施工手順書2013/6更新
改訂2019/8

11 ＭＳ金物の調整

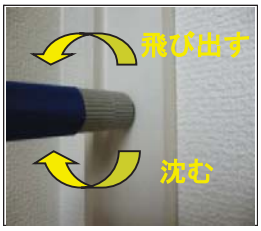
① 枠内寸法を確認し、戸先側のインセット枠に内蔵してあるＭＳ金物を、８φの六角レンチにてロックを解除します。



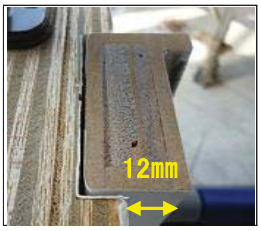
六角レンチ

ロック解除（8φ）

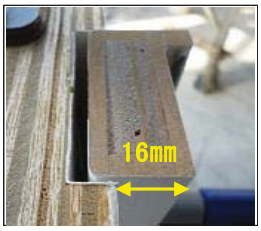
② 調整は10φの六角レンチで巾方向の調整を行います。(±2.0㎜)
その際、枠の出荷時の見付寸法はクロス後、14㎜の設定ですので、12～16㎜の範囲で調整してください。(16㎜以上飛び出すと嵌合しなくなり、はずれる恐れがあります)
調整後は8φ六角レンチにて、必ずロックしてください。



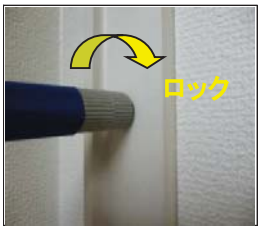
左右の調整（10φ）
(±2㎜)



引っ込めた状態
(見付12㎜)



飛び出した状態
(見付16㎜)

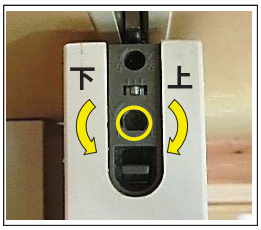


ロック（8φ）

注意 **※枠出荷時にはロックが掛かっていますので、必ずロックを解除して調整を行ってください。また、解除時に45°以上は回さないでください。**
(ロックを解除しないで調整を行うと、MS金物が破損する恐れがあります)

12 上部吊車の調整

① 吊り込み後に上部吊車で調整をする際は、上下調整は下側のネジ、左右調整は上側のネジにて、手動ドライバーで行ってください。



上部吊車
上下の調整

上部吊車
左右の調整

【調整範囲】
上方向3.0㎜
下方向4.0㎜
左右方向±2.0㎜

注意 **※調整の際に電動ドライバーは使用しないでください。**

□２枚・３枚引込み戸(上吊)

forインセット枠

施工手順書2013/6更新
改訂2019/8

13 化粧カバーとビスキャップの取付け・跳ね上がり防止ナットの固定

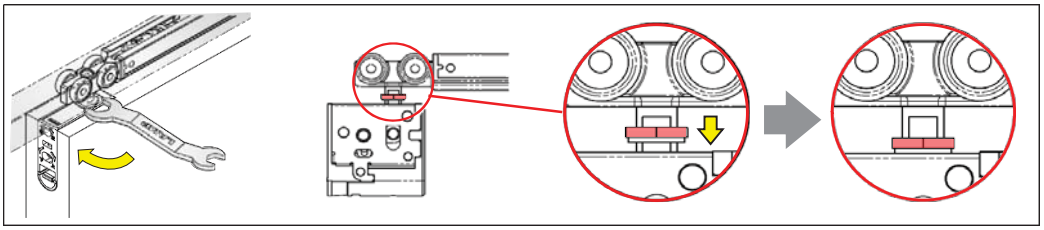
① 全ての調整を終えたら、化粧カバーを取付けてください。
外す場合は、化粧カバーの溝にマイナスドライバー等を差し込み外してください。
同梱のビスキャップをインセット枠の穴にはめ込みます。すべての穴に取り付けてください。

化粧カバーを取付ける

※化粧カバーを外す場合
化粧カバーの溝に
マイナスドライバー等を
差し込み外す

ビスキャップの取り付け

② 両側のローラー吊軸の跳ね上がり防止ナットを、本体に接触するまでスパナで締めてください。



両側のローラー吊軸の跳ね上がり防止ナットを、本体に接触するまでスパナで締める

注意

※跳ね上がり防止ナット必ず締めてください。締め忘れは、故障・破損の原因になります。
※跳ね上がり防止ナットは締めすぎないでください。締めすぎると扉が下がり調整がずれます。

□３枚引違い戸(上吊＋床付レール・連動タイプ)

forインセット枠

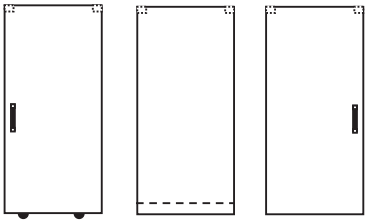
施工手順書2013/6更新
改訂2019/8

■ 製品及び同梱内容の確認

● 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

建具

部材	数量	備考
引き戸	1枚	引手取付済み(スリット手掛けタイプはなし) 固定カップ取付済み 戸車取付済み
	1枚	固定カップ取付済み ユニット本体取付済み
	1枚	引手取付済み 固定カップ取付済み



同梱品

インセット枠

部材	数量	備考
縦枠	2本	

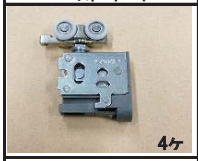
同梱品

引戸レール

引戸レール

レールエンドプレート

化粧カバー



上部吊車

上部吊車(スライダー付)

トリガー

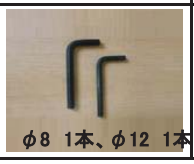
トリガー取付治具

スパナ

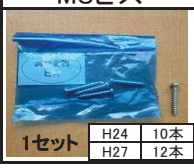
ジョイント金物

キャッチ金物

床付レール(面付)



六角レンチ(3枚引込み戸の場合)



MSビス

ビスキャップ

(注)レールエンドプレートは2サイズありますのでご注意ください。
ポケット戸用(A＝25mm)と、片引き戸用を含むその他の引き戸用(A＝23mm)です。
取付ける際は引き戸の種類とレールエンドプレートのサイズをご確認ください。

□３枚引違い戸(上吊＋床付レール・連動タイプ)

forインセット枠

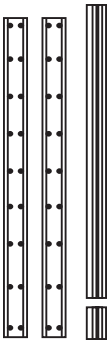
施工手順書2013/6更新
改訂2019/8

■ 製品及び同梱内容の確認

● 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

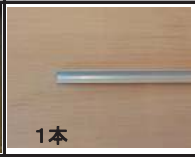
下地枠

部材	数量	備考
縦枠下地	2本	
上枠下地	2本	2本に分割されています
床付けレール	1本	埋込Vの時のみ



※開口定規は同梱されておりません。
※上枠下地は2421㎜以上の場合2分割されています。

同梱品

施工手順書	床付レール（埋込V）		
			

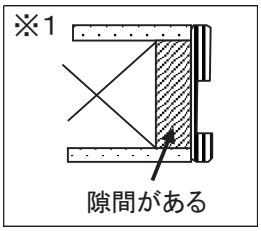
□３枚引違い戸(上吊＋床付レール・連動タイプ)

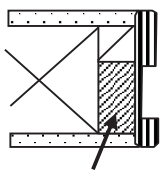
forインセット枠

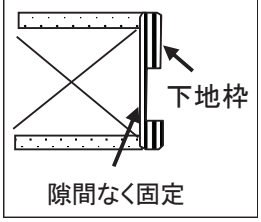
施工手順書2013/6更新
改訂2019/8

1-1 施工前の確認事項

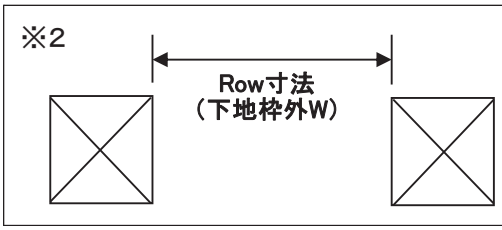
① 下地枠を取り付ける前に、開口部の巾（図面：ＲＯＷ寸法）と、高さ（図面：床仕上～開口高さ）の確認をしてください。（縦枠下地は、床仕上げ面からの立ち上がりとなっているので注意してください）







×	×	○	



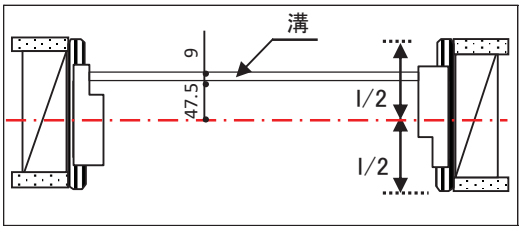
開口の確認

注意

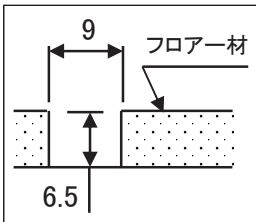
※1: 下地枠は躯体（構造材）と面接合する様に取り付けますので、下地枠の裏側部分には必ず木材を全面に入れておいてください。
※2: 開口部(柱・まぐさ等)の水平・垂直・前後の倒れ・ねじれ等がないか、水平器等で十分に確認してください。

1-2 施工前の確認事項（床付レール（埋込Ｖ）取付の場合）

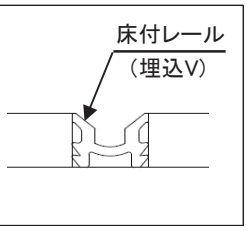
① 床付けレール（埋込Ｖ）を床に取り付ける場合、右図の所定位置に、床付レール（埋込Ｖ）を埋め込む溝を確保してください。
縦枠面から縦枠面まで、巾9mm深さ6.5mmの溝を確保してください。



床付レール（埋込Ｖ）の取り付け溝位置



床付レール（埋込Ｖ）の取り付け溝断面



床付レール（埋込Ｖ）納まり図

注意

※床付レール（埋込Ｖ）は内外どちら側かを選択出来ます。現場にてお決めください。
※床付レール（埋込Ｖ）がきつく入らなかったり、緩くて外れてしまわないように、床付レール（埋込Ｖ）を埋め込む溝の巾は指定の寸法9mmを守ってください。また、段差が出来ないように、溝の深さも指定の寸法6.5mmにしてください。
※床付レール（埋込Ｖ）を埋め込む溝は、縦枠面から片方立下地の巾木面までとなります。

□３枚引違い戸(上吊＋床付レール・連動タイプ)

forインセット枠

施工手順書2013/6更新
改訂2019/8

2 縦枠下地の取り付け

① 縦枠下地を接着剤・取り付けビス(現場手配品)併用にて躯体に固定します。（壁厚の真ん中に取り付けてください）

下地裏面に接着剤全面塗布

下地表よりビス固定

ビス固定の方法 ×

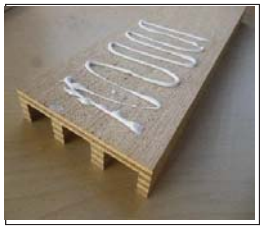
ビス固定の方法 ○

注意

※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(酢ビ系をお奨めします)
※下地枠の取り付けには、しっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めしてください。
※下地枠取り付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛び出さないようにしてください。

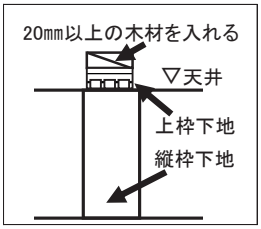
3-1 上枠下地の取り付け（上枠勝ち納まりの場合）

① 上枠下地を接着剤・取り付けビス(現場手配品)併用にてまぐさに固定します。上枠下地の取り付け位置は、縦枠下地と同様に壁厚の真ん中に取り付けてください。(縦勝ちに納まります)
その際、上枠下地の裏側には20㎜以上の木材を入れてください。


下地裏面に接着剤全面塗布

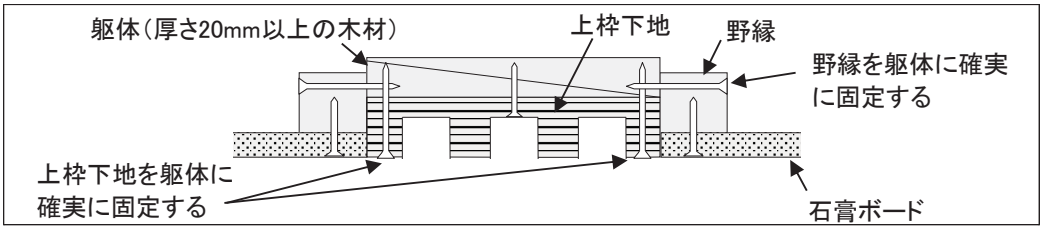
縦枠勝ちに納める

下地表よりビス固定



上枠下地の裏には
20㎜以上の木材を入れる

② 上枠下地と石膏ボードを連続して納める場合、野縁を躯体にしっかりと固定します。その際、石膏ボードの厚さ分を確保してしてください。その後、石膏ボードを上枠下地に合わせて野縁に固定してください。



石膏ボードの厚さ分を確保して、野縁を躯体に固定
その後、野縁に石膏ボードを取付ける

注意

※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(酢ビ系をお奨めします)
※下地枠の取り付けには、しっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めしてください。
※下地枠取り付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛び出さないようにしてください。またその際、レールビスと干渉しない位置にてビス止めを行ってください。
※上枠下地の裏側には、必ず20㎜以上の木材を入れてください。
※野縁は躯体にしっかりと固定してください。上枠下地が固定されている躯体に野縁が固定されていないと、クロスの割れ、よれ、塗り壁の割れの原因となります。
※縦枠下地の天井のみ込み部分は、ボードの厚み部分の欠き込みを行ってください。

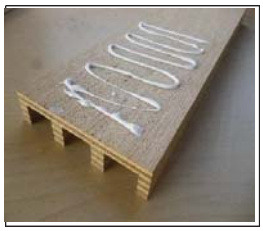
□３枚引違い戸(上吊＋床付レール・連動タイプ)

forインセット枠

施工手順書2013/6更新
改訂2019/8

3-2 上枠下地の取り付け（天井ボード勝ち納まりの場合）

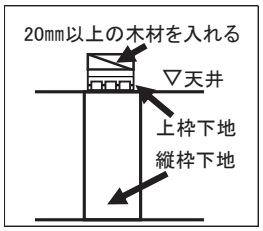
① 上枠下地を接着剤・取り付けビス(現場手配品)併用にてまぐさに固定します。上枠下地の取り付け位置は、縦枠下地と同様に壁厚の真ん中に取り付けてください。(縦勝ちに納まります)
その際、上枠下地の裏側には20㎜以上の木材を入れてください。



下地裏面に接着剤全面塗布

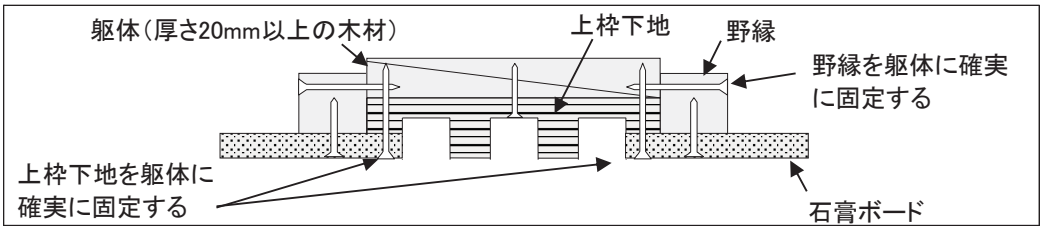
縦枠勝ちに納める

下地表よりビス固定



上枠下地の裏には
20㎜以上の木材を入れる

② 野縁を躯体にしっかりと固定します。その際、石膏ボードの厚さ分を確保してしてください。
その後、石膏ボードをレール溝に合わせて野縁と上枠下地に固定してください。



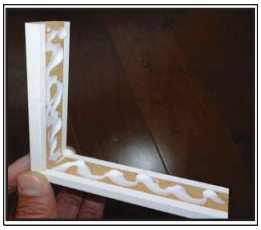
石膏ボードの厚さ分を確保して、野縁を躯体に固定
その後、野縁と上枠下地に石膏ボードを取付ける

注意

※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(酢ビ系をお奨めします)
※下地枠の取り付けには、しっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めしてください。
※下地枠取り付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛び出さないようにしてください。またその際、レールビスと干渉しない位置にてビス止めを行ってください。
※上枠下地の裏側には、必ず20㎜以上の木材を入れてください。
※野縁は躯体にしっかりと固定してください。上枠下地が固定されている躯体に野縁が固定されていないと、クロスの割れ、よれ、塗り壁の割れの原因となります。
※縦枠下地の天井のみ込み部分は、ボードの厚み部分の欠き込みを行ってください。

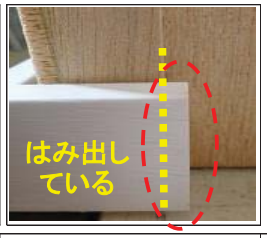
4 巾木・クロス施工

① 巾木を接着剤にて、縦枠下地のシャクリ部分の手前までまわしてください。(接着剤は酢ビ系をお奨めします)



接着剤全面塗布

巾木の取り付け方



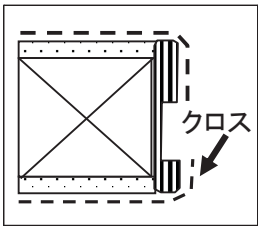
巾木の取り付け方
×

巾木の取り付け方
○

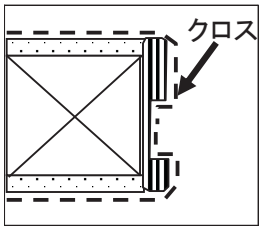
② パテ等の下地処理をした後でクロスを貼ってください。（メッシュ＋下塗り＋上塗りをお奨めします)
その際に、下地のシャクリ部分までクロスを巻き込んでください。

メッシュテープ貼り

パテ処理



クロスの貼り方
×



クロスの貼り方
○

注意

※上枠下地のレール溝部分は、クロスを貼り伸ばしてレール溝に巻き込んでください。

□３枚引違い戸(上吊＋床付レール・連動タイプ)

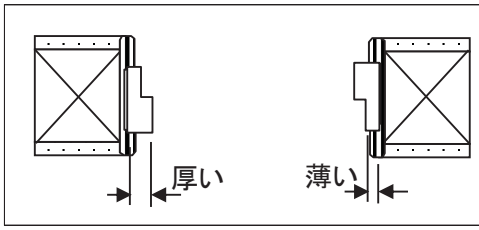
forインセット枠

施工手順書2013/6更新
改訂2019/8

5 インセット枠の取り付け

① インセット枠を下地のシャクリ部分にはめ込み、同梱のＭＳビスにて枠を固定します。(向かって左側はインセット枠断面が厚い方、右側は薄い方)
全てのビス固定が終わったら、手動ドライバーで手締めして完全に固定してください。

インセット枠固定
(ＭＳビス)



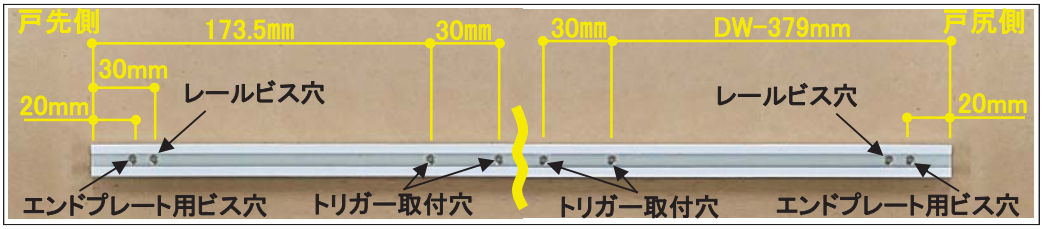
インセット枠の向き
向って左側が厚い方、右側が薄い方

手動ドライバーで完全に固定

注意 **※インセット枠は正寸カットにて出荷していますので、現場にてカットしないでください。(床仕上面よりの立ち上りとなります)**

6-1 引戸レールの取り付け

① ソフトクローズ対応の引戸レールを取り付ける際は、戸先側・戸尻側の向きを確認してください。(両側ソフトクローズ付の為、両側にトリガー穴加工がされていて、距離の短い方が戸先側になります)
中央の引き戸レールは、トリガー加工無しの物を取付けてください。
レールは別途梱包にあります。



レールの戸先側の向き確認

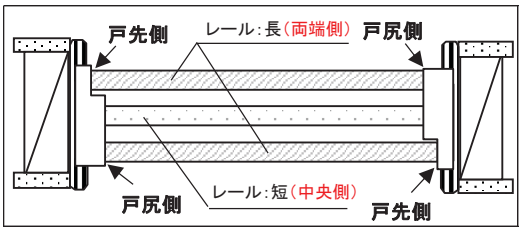
□３枚引違い戸(上吊＋床付レール・連動タイプ)

forインセット枠

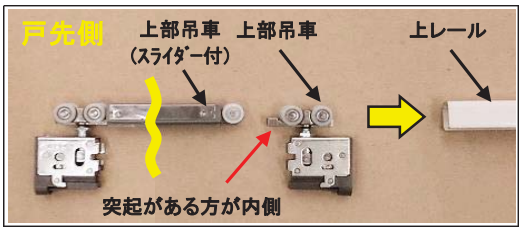
施工手順書2013/6更新
改訂2019/8

6-2 引戸レールの取り付け

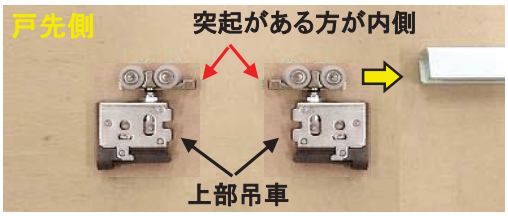
① レールを取り付ける前に、あらかじめ上部吊車をレール内部に入れてください（両端側と中央でレールが異なります）。レール端部にレールエンドプレートを両面テープで仮止めしてください。付属の取り付けビスで、レールとレールエンドプレートを固定してください。
レールは別途梱包にあります。



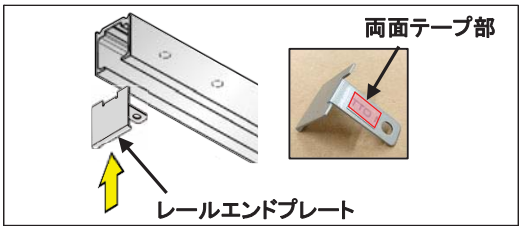
両端側：トリガー穴加工有りレール取付け
中央側：トリガー穴加工無しレール取付け



<両端側のレール>
吊車をレールに入れる



<中央のレール>
吊車をレールに入れる



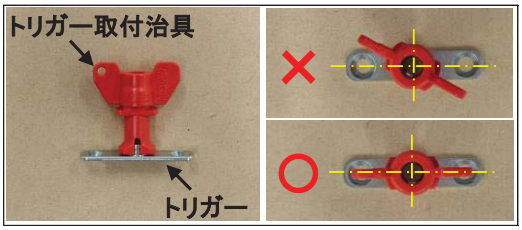
レールエンドプレートを両面テープで仮止めし、
レールと一緒に固定する

注意

※溝に真っ直ぐ入っていない状態でビス止めすると、トリガーが変形してしまう恐れがあるので注意してください。
※トリガーはレールの溝部分に真っ直ぐに入るようにして、必ず手動ドライバーにて固定してください。

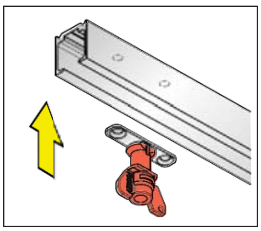
7 トリガーの取り付け

① トリガーを取付治具にセットします。

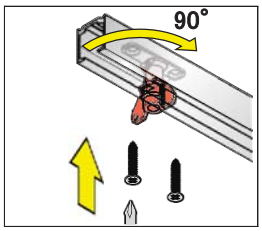


トリガーをトリガー取り付け治具にセット

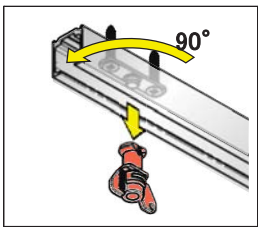
② トリガーをトリガー取付穴に合せてください。
治具を90°回し、トリガーを付属ねじで取付けてください。
治具の向きを戻し外してください。



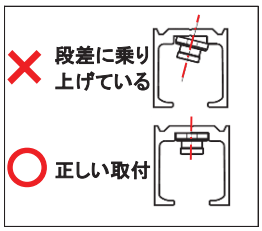
トリガーの穴を合わせる



治具を90°回し、
トリガーを取付ける



治具を外す



注意

※溝に真っ直ぐ入っていない状態でビス止めすると、トリガーが変形してしまう恐れがあるので注意してください。
※トリガーはレールの溝部分に真っ直ぐに入るようにして、必ず手動ドライバーにて固定してください。

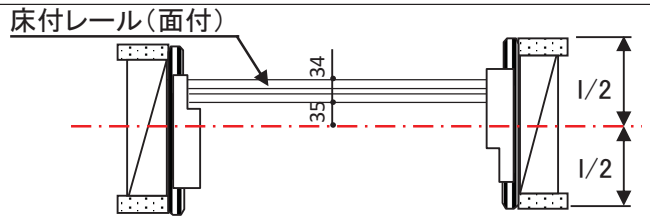
□３枚引違い戸(上吊＋床付レール・連動タイプ)

forインセット枠

施工手順書2013/6更新
改訂2019/8

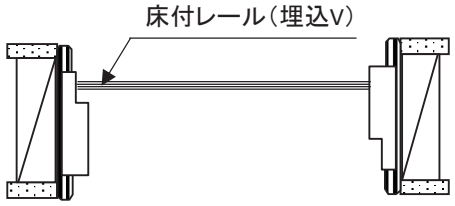
8 床付レールの取り付け(金物は別途金物箱にあります)

① 床付レール（面付）を床に取り付けます。右図の所定位置に付属のビスで取り付けてください。
ビスの取付は、中央から始め両端側の順に止めてください。



床付レール（面付）の取り付け位置

② 床付レール（埋込Ｖ）の場合
床付レール（埋込Ｖ）に当て木をして、溝に埋め込んでください。



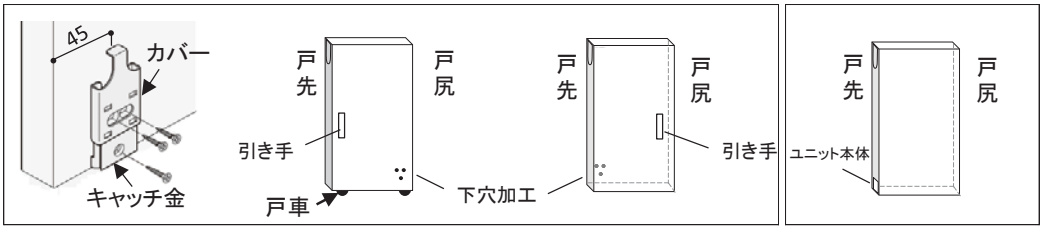
床付レール（埋込Ｖ）の取り付け位置

注意

※床付けレールは内外どちら側かを選択出来ます。現場にてお決めください。
※床付レール（面付）の取り付けの際、ビスを締め付けすぎるとレールが変形する恐れがありますので、最後の締め付けは必ず手動ドライバーで行ってください。
※床材の伸縮によりレールが浮いた場合は、一度取外して再取付してください。その際、必要に応じレール裏面に両面テープを付けてください。
※床付レール（埋込V)の溝巾が広くなってしまい、レールが外れてしまう場合には、両面テープ（現場手配品）をレールの底面に貼り付けて対応してください。

9-1 連動金物の取付け（キャッチ金物の取付け）

① 引手のある扉下部にある下穴にキャッチ金物を取付けてください。
中央の扉には、キャッチ金物は取り付けません。



内外の扉（引き手付き）
戸尻の下部にキャッチ金物を取付け

中央の扉（引き手無し）
キャッチ金物の取付け無し

注意

※キャッチ金物のカバーは、現時点では下ろさないでください。扉吊り込み後にジョイント金物が差し込めなくなります。
※ねじの頭が浮かないように取付けてください。

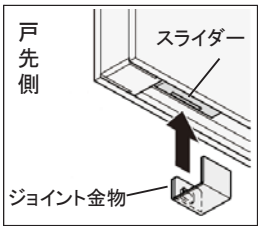
□３枚引違い戸(上吊＋床付レール・連動タイプ)

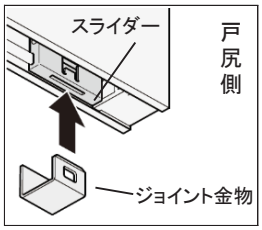
forインセット枠

施工手順書2013/6更新
改訂2019/8

9-2 連動金物の取付け（ジョイント金物の取付け）

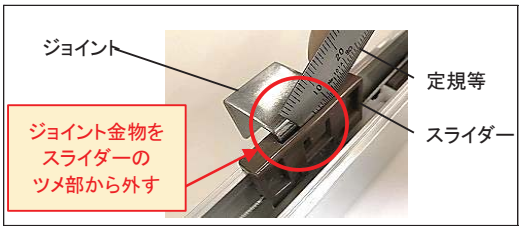
① 中央の扉下部にあるユニット本体のスライダー部にジョイント金物（穴加工側）を差し込んでください。





中央の扉下部にあるユニット本体のスライダー部に
ジョイント金物（穴加工側）を差し込む

※ジョイント金物を外す場合
スライダーにジョイント金物を差し込んだ後、やむを得ず外す場合は、ジョイント金物とスライダーの隙間に定規等を差し込みツメ部から外し、引き抜いてください。



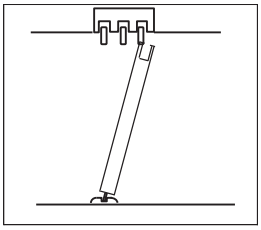
ジョイント金物とスライダーの隙間に
定規等を差し込みツメ部から外し、引き抜く

注意

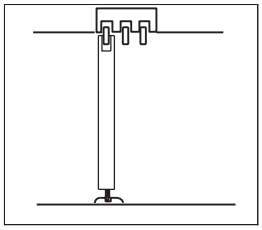
※各種ジョイント金物の位置や向きを間違えないように取付けてください。
※ジョイント金物は穴加工のある方をユニット本体のスライダーに差し込んでください。
※各種ジョイント金物の挿入後は、扉を立てた状態で床置きしないでください。スライダーに負荷が掛かり破損してしまう恐れがあります。
扉を立てる場合は、当て木等でジョイント金物に直接負荷が掛からないようにしてから置いてください。

10-1 建具の吊り込み（固定カップと上部吊車の連結）

① 先ず戸車付きの扉から、吊り込みます。
建具の戸車を床付レールの溝にはめ込み、建具を起こしていきながら上部レールの吊車と、建具の固定カップを連結させます。



戸車を床付レール
の溝にはめ込む

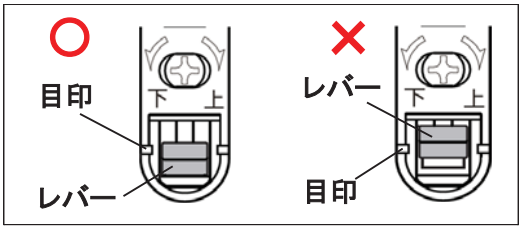


上部の吊車と建具の
固定カップを連結させる

② 次に２枚目（ユニット本体付の扉）、３枚目の建具も１枚目と同様に、建具を起こしていきながら、上部のレールの吊車と建具の固定カップを連結させて吊り込み完了です。

固定カップと
上部吊車を連結する

パチンの音を確認



上部吊車のレバーの位置を確認する

注意

※建具を持ち上げる際は天井に建具がぶるからない様に気を付けてください。
※上部吊車と固定カップは、パチンと音が鳴るまで連結させてください。最後まで入っていないと、使用中、外れる恐れがあります。
※吊車を取り外す際、素手で外れない場合は、プライヤー等工具を使用し取り外してください。
※建具の開閉は、勢いよくやりすぎると金物が破損する可能性があるので注意してください。

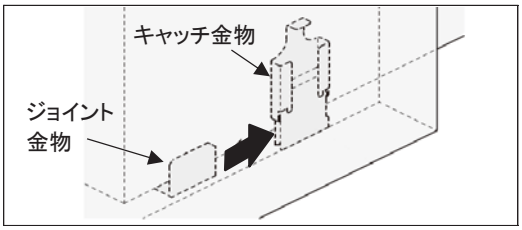
□３枚引違い戸(上吊＋床付レール・連動タイプ)

forインセット枠

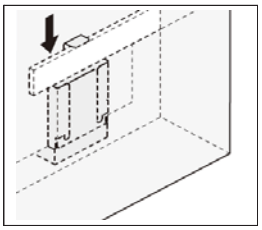
施工手順書2013/6更新
改訂2019/8

10-2 建具の吊り込み（キャッチ金物とジョイント金物の連結）

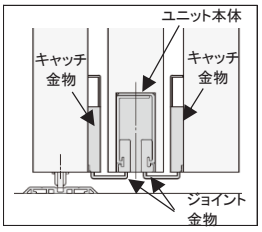
① 中央の扉に取付けたジョイント金物を、連結させる扉に取付けたキャッチ金物へ横から指し込みます。
ジョイント金物がしっかり差し込まれた事を確認後、ドライバーや定規等で、キャッチのカバーを下ろします。



ジョイント金物を
キャッチ金物へ横から指し込む

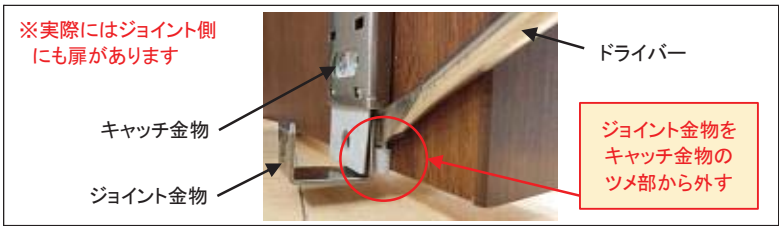


ドライバーや定規等で
キャッチのカバーを下ろす



連動金物納まり

※扉を外す場合
キャッチ金物にジョイント金物を差し込んだ後、やむを得ず扉を外す場合は、ジョイント金物が差し込まれたキャッチ金物の隙間にマイナスドライバー等を差し込みツメ部から外し、扉ごと引き抜いてください。

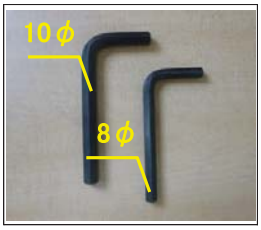


ジョイント金物とキャッチ金物の隙間にマイナスドライバー等を
差し込みツメ部から外し、扉ごと引き抜く

注意 **※ジョイント金物をキャッチ金物に差し込み後、必ずキャッチ金物のカバーを下ろしてください。**

11 ＭＳ金物の調整

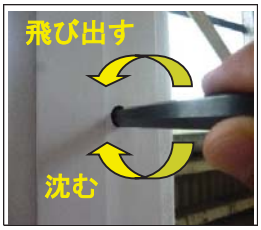
① 枠内寸法を確認し、戸先側のインセット枠に内蔵してあるＭＳ金物を、８φの六角レンチにてロックを解除します。



六角レンチ

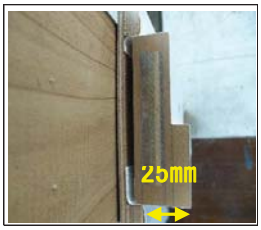
ロック解除（8φ）

② 調整は10φの六角レンチで巾方向の調整を行います。(±2.0㎜)
その際、枠の出荷時の見付寸法はクロス後、23㎜の設定ですので、21～25㎜の範囲で調整してください。(25㎜以上飛び出すと嵌合しなくなり、はずれる恐れがあります)
調整後は8φ六角レンチにて、必

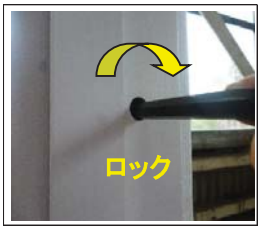


左右の調整（10φ）
(±2㎜)

引っ込めた状態
(見付21㎜)



飛び出した状態
(見付25㎜)



ロック（8φ）

注意 **※枠出荷時にはロックが掛かっていますので、必ずロックを解除して調整を行ってください。また、解除時に45°以上は回さないでください。**
(ロックを解除しないで調整を行うと、MS金物が破損する恐れがあります)

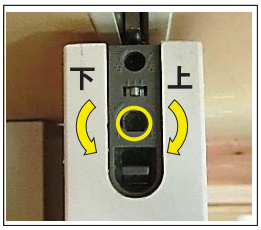
□３枚引違い戸(上吊＋床付レール・連動タイプ)

forインセット枠

施工手順書2013/6更新
改訂2019/8

12 上部吊車の調整

① 吊り込み後に上部吊車にて調整を行う際は、上下調整は下側のネジ、左右調整は上側のネジにて、手動ドライバーで行ってください。



上部吊車
上下の調整

上部吊車
左右の調整

【調整範囲】
上方向3.0㎜
下方向4.0㎜
左右方向±2.0㎜

注意

※調整の際に、電動ドライバーは使用しないでください。
※戸先側と戸尻側の木口で調整方法が反転しますので、ご注意ください。

13 化粧カバーとビスキャップの取付け・跳ね上がり防止ナットの固定

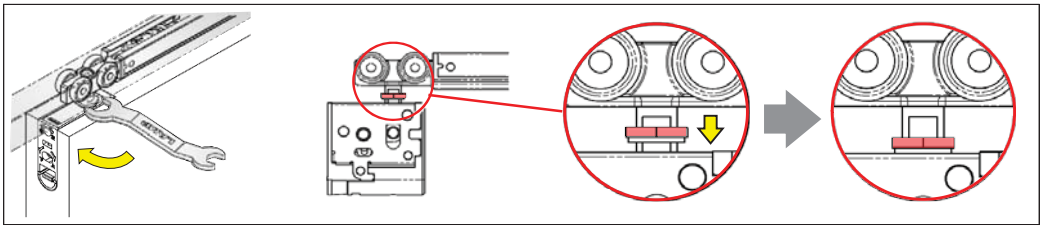
① 全ての調整を終えたら、化粧カバーを取付けてください。
外す場合は、化粧カバーの溝にマイナスドライバー等を差し込み外してください。
同梱のビスキャップをインセット枠の穴にはめ込みます。すべての穴に取り付けてください。

化粧カバーを取付ける

※化粧カバーを外す場合
化粧カバーの溝に
マイナスドライバー等を
差し込み外す

ビスキャップの取り付け

② 両側のローラー吊軸の跳ね上がり防止ナットを、本体に接触するまでスパナで締めてください。



両側のローラー吊軸の跳ね上がり防止ナットを、本体に接触するまでスパナで締める

注意

※跳ね上がり防止ナット必ず締めてください。締め忘れは、故障・破損の原因になります。
※跳ね上がり防止ナットは締めすぎないでください。締めすぎると扉が下がり調整がずれます。